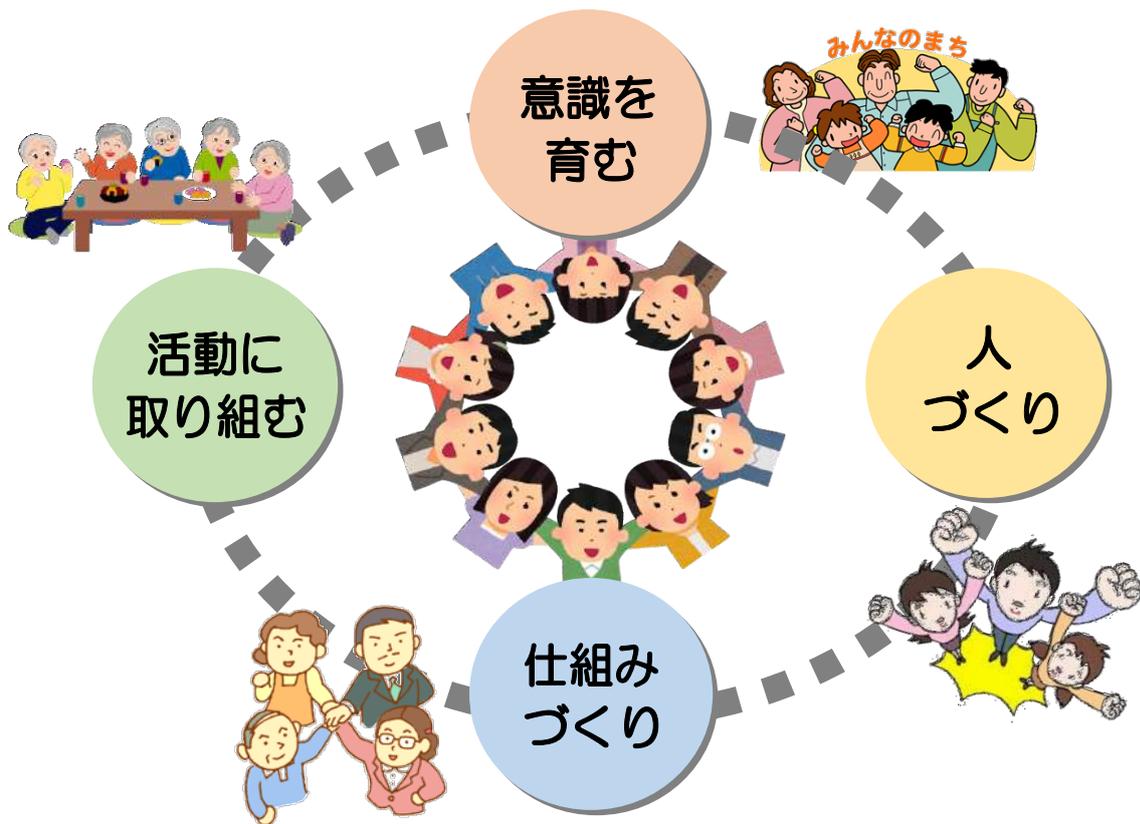


上越市地域福祉活動計画

計画期間 2019年～2022年



【イラスト】 ひぐちキミヨさん（上越市在住）



社会福祉法人 上越市社会福祉協議会

1

地域福祉活動計画とは・・・

地域福祉とは、地域の中で人と人のつながりを大切にし、お互いを気にかけて、支え合う関係やその仕組みをつくっていくことです。

人口減少や少子高齢化、核家族化が進み、生活スタイルや働き方などに変化がみられる昨今、生活上の課題も多様化、複雑化しています。

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、公的なサービスの利用だけではなく、地域で一緒に暮らしている多様な個性や価値観を持つ人たちを認め合い、協力し合う地域社会をつくる必要があります。

地域福祉活動計画は、地域懇談会などでの皆さんの声や住民組織・企業・団体などの意見交換を踏まえながら、地域で主体的に進める取組みなどを整理し、関係機関や団体とのつながりを持って協力しながら、継続的に地域福祉活動を実践していくことができるよう、民間の立場からまとめたものです。



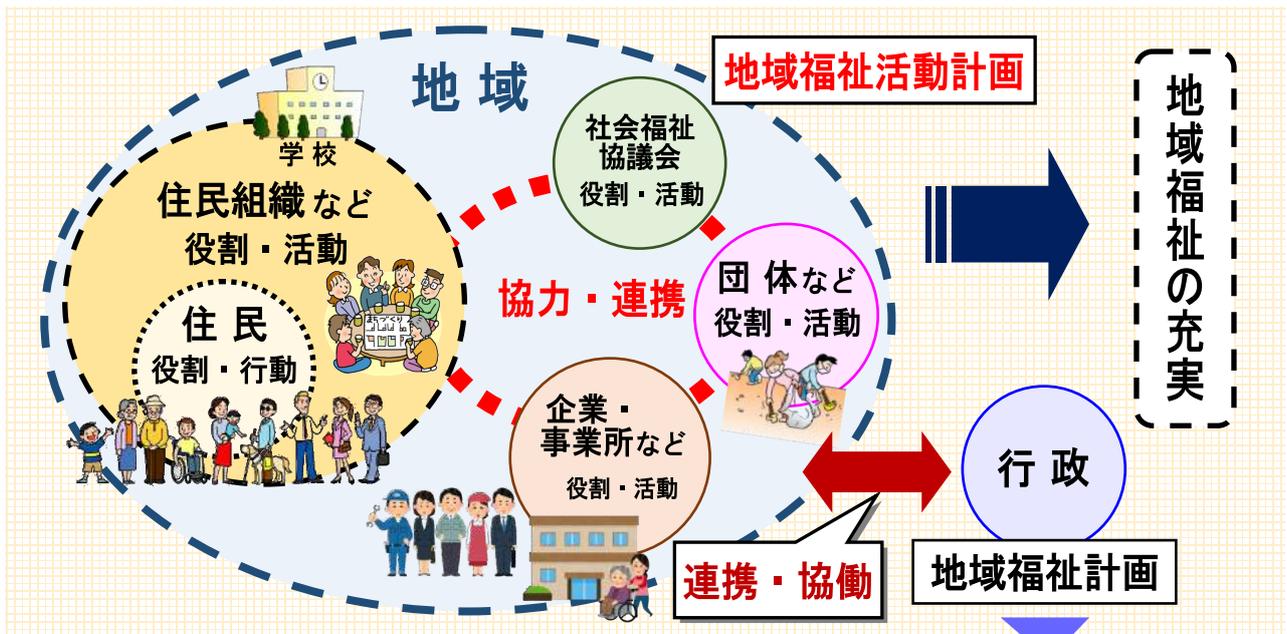
上越市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「@VSN」

2

地域福祉の充実を図るためには・・・

「地域福祉活動計画」は地域の皆さんが主役となって取り組む計画ですが、その実効性を高めていくには、行政の取組みや上越市社会福祉協議会の事業・活動などと密接な関わりを持つことが大切です。

それぞれが連携・協働して共に取組みを進めることにより「地域福祉」の充実につながっていきます。



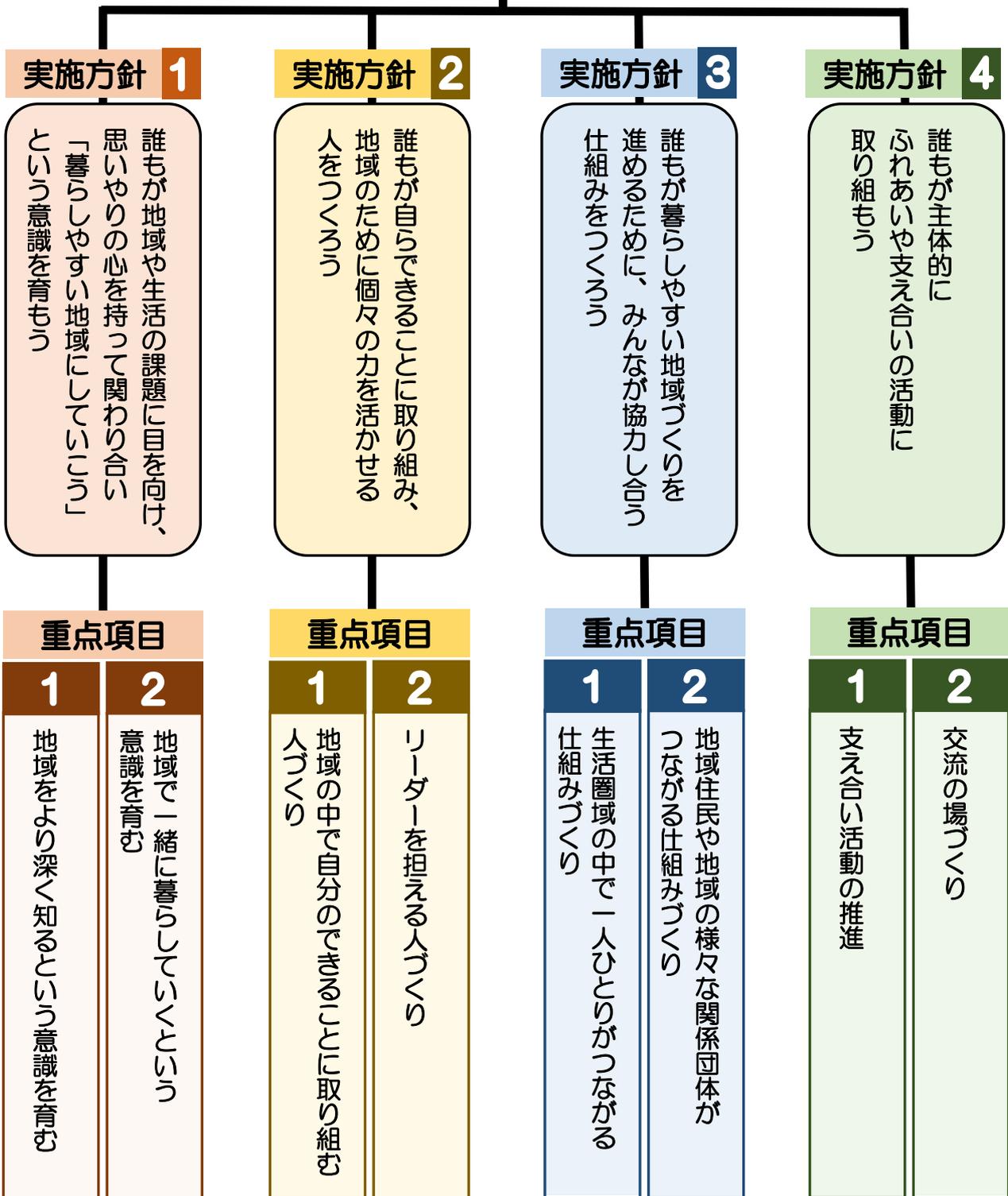
- 社会福祉法第107条に基づき策定する行政計画
- 健康福祉に関連する各種計画の上位計画で、福祉関係施策を総合的に推進するための理念計画

3 地域福祉活動計画の体系図

地域の皆さんの「こんな地域にしたい」、「こんな地域になればいい」という想いとキーワードを整理し、計画を体系的にまとめました。

基本理念 みんなで力を合わせ、笑顔あふれる地域づくり

基本目標 誰もが自分の出番や役割に気づき、思いやりの心で支え合い、自分らしく暮らし続けることができる地域をつくろう





【地域懇談会での皆さんの声】

- 地域に愛情や親しみを持ち、誇りが持てる地域になればいい。
- お互いに想いを伝えあえる地域になればいい。

重点項目 1 地域をより深く知るという意識を育む

暮らしやすい地域をつくるためには、まず、自分の暮らす地域に愛着を抱き、いいところや弱み、課題に気づく意識を持ち、誰もが地域に目を向け、関わっていくことが大切です。

具体的な取組み例

地域住民	町内会・住民組織・ボランティアグループ等
<ul style="list-style-type: none"> ●様々な団体が発信している地域情報に目を通す。 ●「まち歩き」などにより、地域の歴史や文化などに触れる。 ●町内会や地域の集会などに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会や住民組織などの広報紙、ホームページなどで地域の情報を発信する。 ●地域の声を聴くために意見ポストの設置やアンケート調査などを実施する。
企業・団体等	社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> ●社会貢献活動などの地域と関わりのある情報を広報紙やホームページなどで発信する。 ●町内会や住民組織などの広報紙やチラシなどを社内で回覧する。また、広報物の設置場所を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の現状を把握し、地域住民の“気づき”を促す「支え合いマップづくり」の働きかけを行う。 ●地域住民や学校、企業、団体などに対する「福祉教育」を進める。



住民組織による実態把握調査



地域での支え合いマップづくり

地域で一緒に暮らしていくという意識を育む

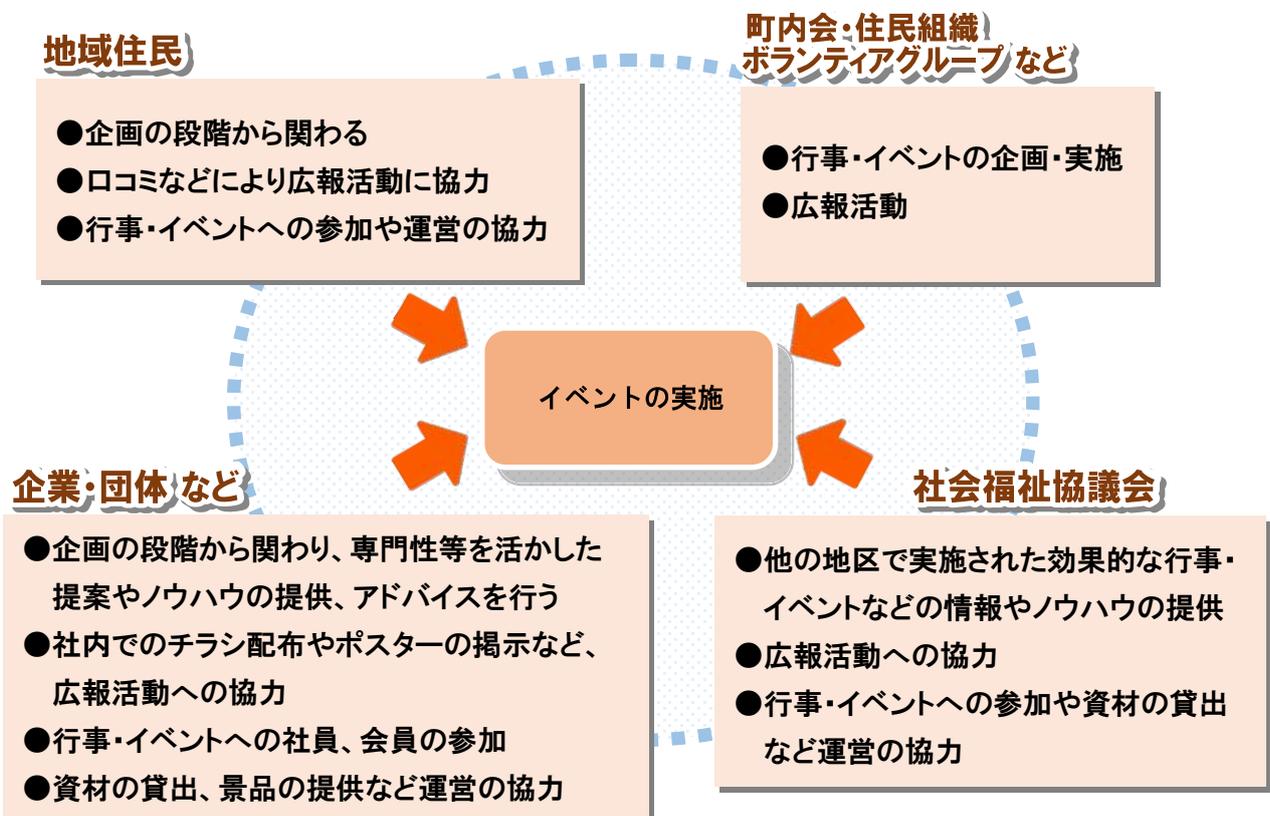
住み慣れた地域で暮らし続けるために、「差別」や「偏見」をなくし、一人ひとりが地域の一員としてお互いを認め合い、一緒に暮らしていくという意識を持たなければなりません。



具体的な取組み例

<p style="text-align: center;">地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ●向こう三軒両隣であいさつや会話をする機会を持つ。 ●班や町内会、地域の行事などに参加する。 ●人権に関する講演会や研修会などに参加する。 	<p style="text-align: center;">町内会・住民組織・ボランティアグループ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できる行事やイベントを企画・実施する。 ●町内会や住民組織などの広報紙、ホームページなどで自分たちの活動や取組みを発信する。
<p style="text-align: center;">企業・団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの専門性や特性、技術を活かして、地域の行事やイベントなどに参画し協力する。 ●地域の行事やイベントなどの広報活動への協力や物品提供、貸出、資金の支援を行う。 	<p style="text-align: center;">社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の行事やイベントなどの企画に関する情報提供や機材等の貸出、当日の協力など、実施に伴う支援を行う。 ●住民同士の関係性を把握する機会を持つ。 ●権利を護る事業や制度の周知を行う。

【取組みと関わり方の一例】





【地域懇談会での皆さんの声】

- 役員のなり手がいない。行事に参加する人が限られている。
- 30代からの世代が発想力で引っ張る地域になってほしい。

重点項目

1

地域の中で自分のできることに取り組む人づくり

地域の中で自分のできることに取り組み、一人ひとりが地域と関わって主体的に行動することで、活発に活動が行われる元気な地域がつくられていきます。



具体的な取組み例

地域住民	町内会・住民組織・ボランティアグループ等
<ul style="list-style-type: none"> ● 町内会行事や地域活動などに参加する。 ● 自分の趣味や特技を活かし、地域活動に参加・協力していく。 ● 地域で開催されるボランティア講座などに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域活動体験会」や「ボランティア募集情報の発信」など、地域の活動に参加するきっかけとなる取組みを行う。 ● 地域で開催されるボランティア講座などの情報を広報する。
企業・団体等	社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの専門性や特性、技術などを活かして地域で活動する人を支援する。 ● ボランティア講座などの講師を務める。 ● 住民やボランティアが活動しやすい環境づくりに向けた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気軽に参加できる地域活動などを町内会・住民組織などと一緒に企画する。 ● 趣味や特技を持つ住民を発掘する。 ● ボランティア入門講座やテーマ別ボランティア養成講座などを企画し実施する。



災害ボランティア・支援者養成講座



地域での認知症に関する学習会

リーダーを担える人づくり

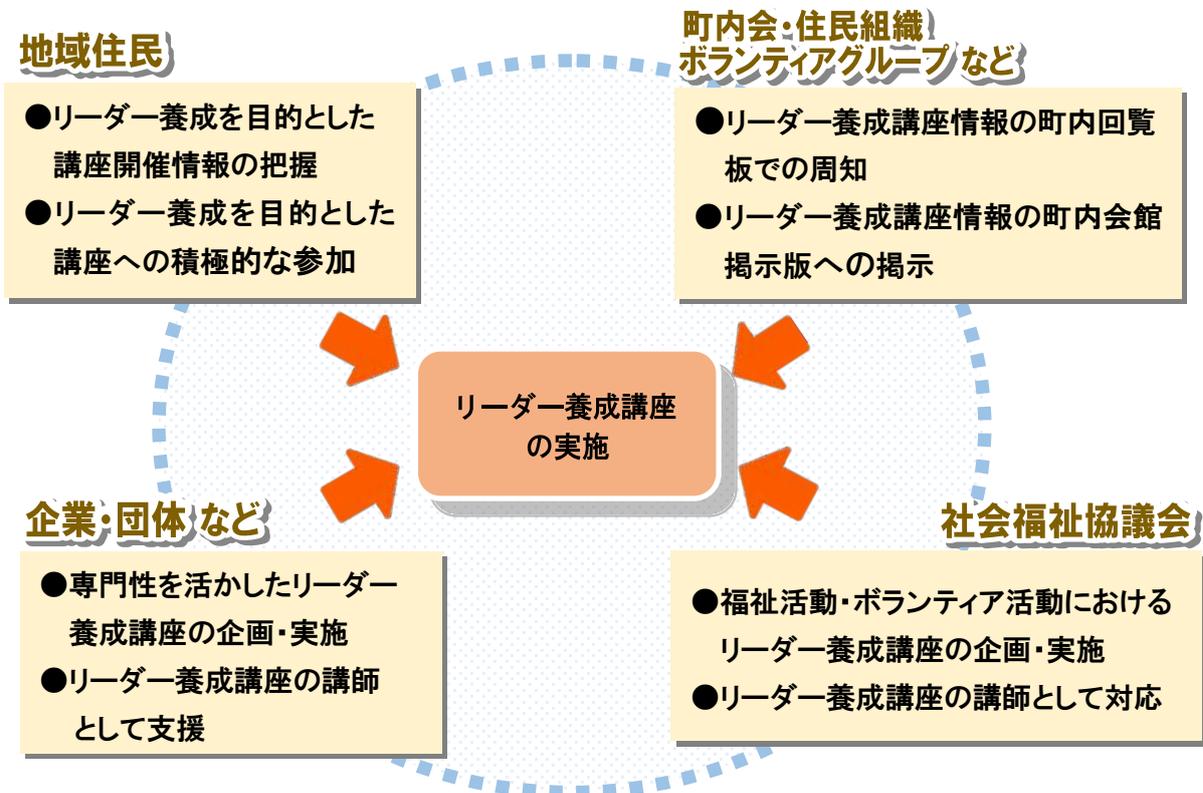
地域で様々な活動を進めていくためには、先頭に立って行動するリーダーが必要です。幅広い世代を対象としたリーダーの育成や若い人たちによる次世代の担い手づくりを進めることが必要です。



具体的な取り組み例

<p style="text-align: center;">地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小・中・高・大学生や親世代など早い段階から町内会活動や地域活動に関わる。 ●リーダーを養成・育成することを目的とした養成講座などに参加する。 	<p style="text-align: center;">町内会・住民組織・ボランティアグループ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若い人たちへ町内会活動や地域活動の参加を呼びかけ参画を得る。 ●リーダーやリーダーを支える人材を発掘し、人材の一覧表などを作成する。
<p style="text-align: center;">企業・団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自らがリーダーとして地域活動を実践する。 ●それぞれの専門性や特性などを活かしてリーダー養成講座を開催する。 	<p style="text-align: center;">社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校やPTA・企業などと連携し、地域活動や福祉活動に関する「福祉教育」を若い世代に対して行う。 ●福祉分野で活動するリーダー養成・育成講座を開催する。

【取り組みと関わり方の一例】





【地域懇談会での皆さんの声】

- 企業と地域がつながることによって地域の活性化につながる。
- 町内会内の協働はあるが、他の町内会との協力関係はほとんどない。

重点項目

7

生活圏域の中で一人ひとりがつながる仕組みづくり

隣近所や町内会、小学校区などの生活圏域ごとに話し合いや取組みが行われ、生活課題の解決に向けて一人ひとりがつながり支え合う仕組みをつくっていくことが必要です。



具体的な取組み例

地域住民

- お茶飲み会などにより、ご近所と話し合う機会を持つ。
- ご近所で気がかりな人や困りごとを抱えている人がいたら、声をかけたり話しを聞いたりする。(プライバシーを尊重して対応)

町内会・住民組織・ボランティアグループ等

- 班や町内会で生活上の心配ごとや課題などについて話し合う機会をつくる。
- 青年会、老人クラブなどそれぞれで地域づくりや活動について話し合う機会をつくる。
- 町内会長同士が懇談する機会を設ける。

企業・団体等

- 話し合いの内容に応じて地域の集会や懇談会などに参加し、それぞれの立場から意見やアドバイス、提案などを行う。
- 住民同士の話し合いが円滑に行われるよう支援する。

社会福祉協議会

- 住民同士の地域懇談会の実施により話し合いの機会をつくり、情報共有を図る。
- 町内会での話し合いから小学校圏域での話し合いにつなげていくなど、必要に応じエリアを広げて話し合える機会をつくっていく。



地域での関係機関・団体との連絡会



地域福祉推進委員会

地域住民や地域の様々な関係団体がつながる仕組みづくり

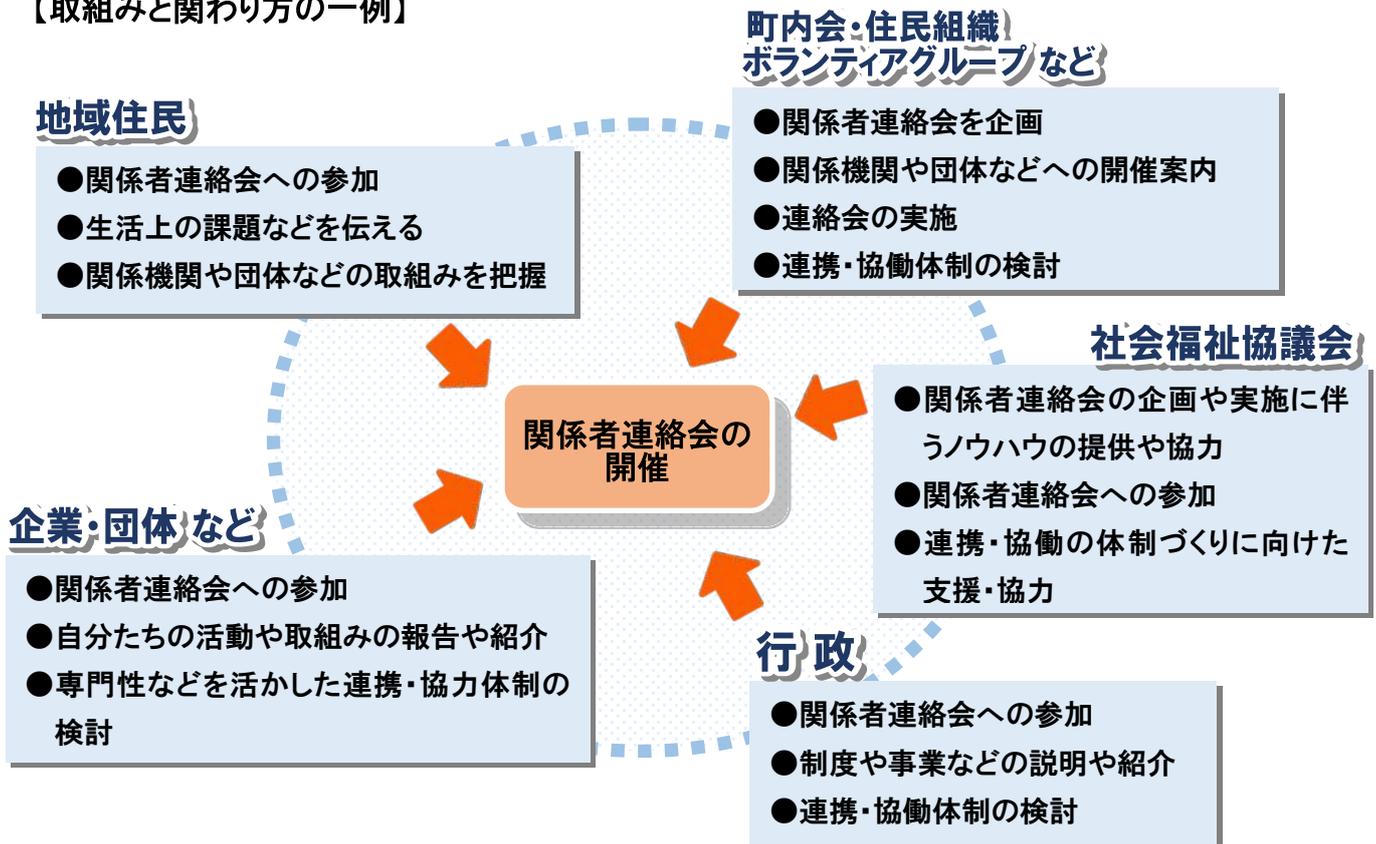
住民同士のつながりに加え、地域福祉に関わる団体、事業所、企業、学校、行政、社協などがそれぞれの役割を担いながらつながり合い、「地域ぐるみ」で生活上の課題解決に向けて取組む仕組みをつくっていくことが重要です。



具体的な取組み例

地域住民	町内会・住民組織・ボランティアグループ等
<ul style="list-style-type: none"> ●地域の様々な相談窓口や支援機関などを把握する。 ●社会福祉協議会が実施する地域懇談会や関係機関、団体との懇談会、交流会などに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民組織などが調整役となって住民や関係機関、団体などに呼びかけ、地域や生活上の課題などを解決していくための連携・協働について話し合う機会をつくる。
企業・団体等	社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> ●住民や住民組織などとの話し合いに参加し専門性や特性、技術などを活かし協力する。 ●企業や団体などそれぞれの分野ごとにつながりを持ち、地域づくりや福祉活動に参加・協力する体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域における生活上の課題などを共有し、関係機関や団体、行政などに呼びかけ、問題の解決やサポート体制などについて検討する場をつくる。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の福祉に対するニーズや課題を的確に把握しながら、関係機関と連携し、地域の実情に応じた地域福祉活動の企画や実施に取り組む。

【取組みと関わり方の一例】





【地域懇談会での皆さんの声】

- 高齢者はゴミだしや買い物が大変。安心して子育てができる地域になればいい。
- 世代を超えて交流し、困った時に助け合える地域になればいい。

重点項目

7

支え合い活動の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、生活上の困りごとを解決していく支え合い活動にみんなで主体的に取り組むことが必要です。



具体的な取組み例

地域住民	町内会・住民組織・ボランティアグループ等
<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板の手渡しやゴミ出し時に児童を見守るなど、日頃の関わりを大切にしたい見守りを行う。 ●地域で行われる様々な支え合いの活動に参加・協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●組織的な見守りを行う体制をつくる。 ●困りごとや心配ごとに対する支え合い活動に取り組む。 ●困りごと・心配ごとの声を福祉関係者につなげる。
企業・団体等	社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> ●普段の業務や活動を活かした見守りを行う。 ●企業・団体の特性や専門性を活かし、支え合い活動に取り組む。 ●物資の提供や活動資金の補助など、支え合い活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●見守り体制づくりの支援を行う。 ●地域で行われる支え合い活動を支援する。 ●支え合い活動に必要な関係機関・団体との調整を行う。



住民組織による「お買物ツアー」



地域での世代間交流サロン

交流の場づくり

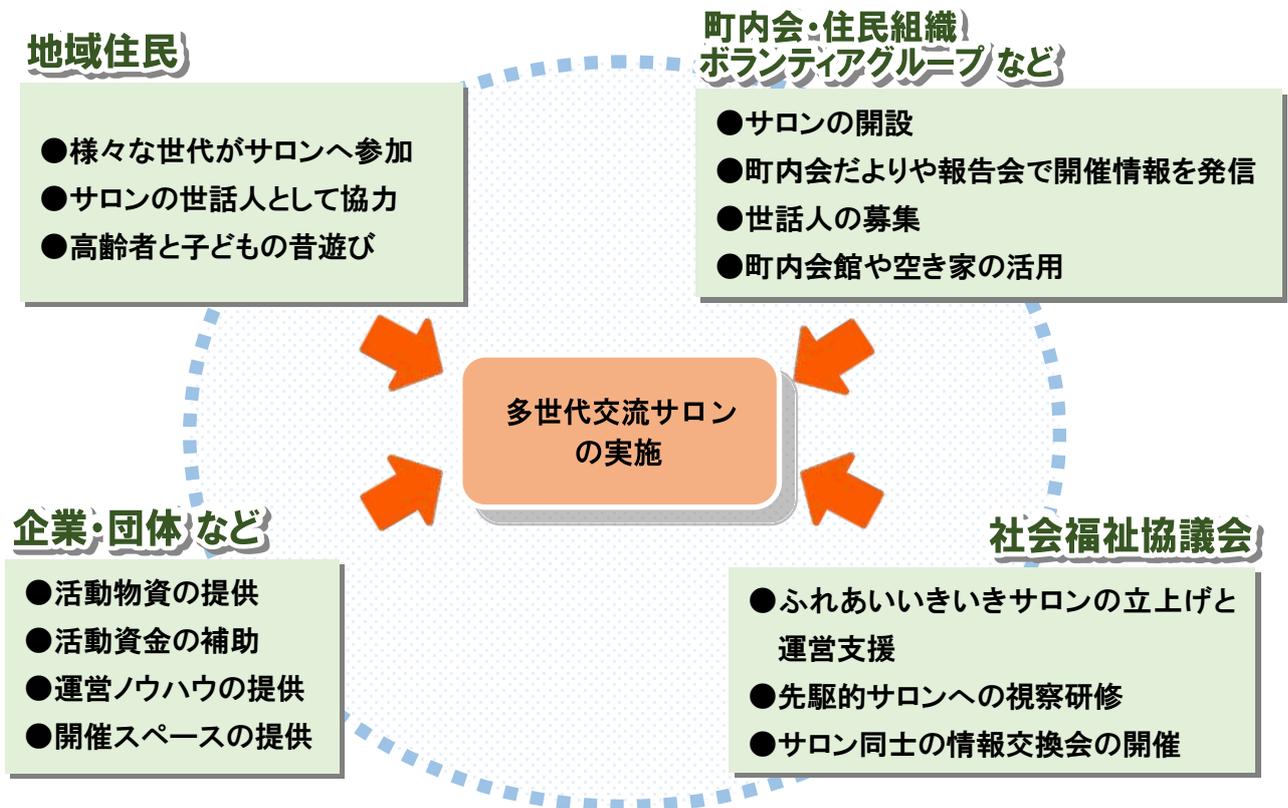
地域の中で孤立する人がないように、子どもから高齢者まで気軽に参加することができ、ふれ合い、つながり、顔の見える関係性をつくる「交流の場」を地域の中に広げていく必要があります。



具体的な取組み例

地域住民	町内会・住民組織・ボランティアグループ等
<ul style="list-style-type: none"> ●交流の場に参加する。 ●交流の場の世話人として協力する。 ●趣味や特技を活かして交流の場に関わる。 (介護予防体操指導、歌や楽器の披露、昔の遊びなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる交流の場をつくる。 ●男性サロンや子育てサロンなど、年代や性別、テーマで開催する交流の場をつくる。 ●交流の場の世話人や参加者を募集する。
企業・団体等	社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所の確保や物資の提供、活動資金の補助など、活動に必要な支援を行う。 ●ボランティア休暇制度の利用促進や社内報での参加の呼びかけなど、交流の場に参加しやすい職場環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいいいききサロンへの助成金交付やルールづくり、企画などに関するノウハウの提供など、開設や継続運営のための支援を行う。 ●他の交流の場との連携・情報共有を図る。

【取組みと関わり方の一例】



4

地域福祉活動計画の推進に向けて

この計画を着実にそして実効性を高め推進していくために、以下の内容に取り組みます。

地域福祉活動計画の周知

地域の皆さんや各団体等が計画の内容を理解し、主体的に取り組を進めることができるよう、計画の周知を図ります。

- 概要版を様々な機会に配布していきます。
- 計画に関する講演会等を実施していきます。
- 上越市社会福祉協議会のホームページや広報紙（社協だより）に掲載します。
- 地域での説明会を開催します。

地区地域福祉活動計画の策定

地域の課題や状況はそれぞれ異なることから、地域に必要な独自の取組みを考え、実践していくために、地区地域福祉活動計画の策定を進めます。

- 28の地域自治区を基本的な範囲として、計画期間（4年間）の中で地域懇談会等を実施しながら地区地域福祉活動計画の策定に取り組みます。

計画の進捗管理・評価

この計画に基づき、地域で行われる取組みについては、地域の皆さんや関係機関、団体と社会福祉協議会が意見交換会等を通じて毎年度進捗管理や評価を行っていきます。

- 計画期間（4年間）の前期が終了した段階で評価を行い、必要に応じて見直し、後期の取組みに反映させていきます。

上越市社会福祉協議会の支援体制

上越市社会福祉協議会は、この計画を推進していくために地域での支援を行います。

- 地域懇談会の開催等により、地区地域福祉活動計画の策定を支援します。
- 福祉の専門職として、福祉活動に関する相談や助言を行います。
- 福祉活動を安定的に実施していくため、助成金等の交付や活動資金を確保するための情報提供などを行います。

※ 「上越市地域福祉活動計画」は、上越市社会福祉協議会のホームページでご覧いただけます。

概要版

上越市地域福祉活動計画

発行 2019年3月 編集 社会福祉法人 上越市社会福祉協議会



〒943-0806 上越市木田新田1-1-3 TEL. 025-526-1515（代表）

E-mail. jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp